Panasonic

施工説明書

床下収納ユニット・床下点検口

品番：〈600タイプ〉CGLW60D・CGLW60S
〈450タイプ〉 CGLW45D・CGLW45S

※600タイプのみ収納ユニット（1階専用）として使用できます。
（床下収納ユニット本体（CGLH60F）が別途必要です）

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
■梱包材や残材は、法律にしたがって適切に処理してください。
■取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。（施工完了後、使いかたを説明してください。）

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

⚠注意

分解禁止	商品の分解・修理・改造は絶対にしない けがや事故、故障の原因となります。	禁止	ガス・水道管・電気配線のある場所に設置しない 事故の原因となります。	必ず守る	施工時は、必ず指定のねじを使用する 落下によるけがのおそれがあります。

施工上のご注意

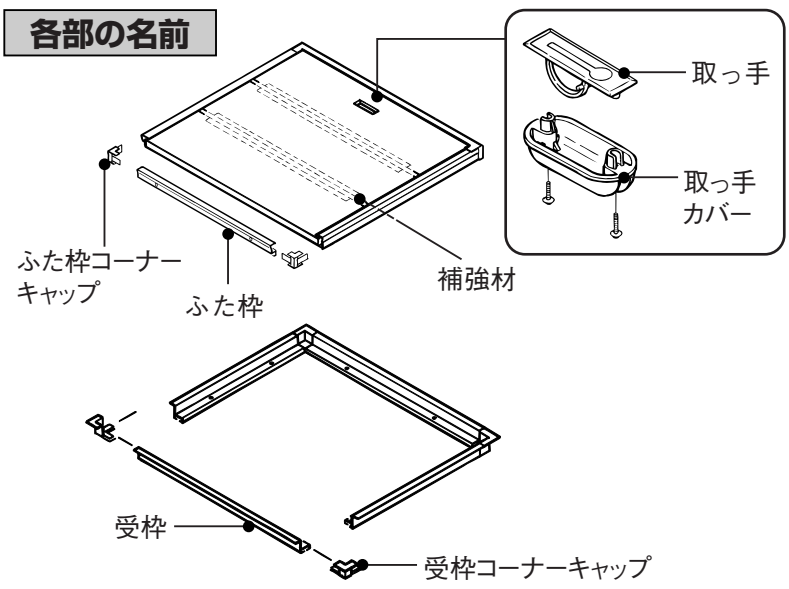
※施工前に下記のことを配慮し、取り付け位置を決めてください。

床材…… 木質直貼床材（裏面クッション材貼り）には使用しないでください。（たわみの原因となります。）

床組み…… 大引・根太を指定位置に入れてください。

本体取り付け方向… 床材の木目方向とふた枠の補強材が直交するように取り付け方向を決めてください。

各部の名前



部材・部品表

〔寸法単位：mm〕

※施工前に必ず部品点数をご確認ください。

部材・部品名		数量
受枠		1セット
受枠コーナーキャップ		4
ふた枠		1セット
ふた枠コーナーキャップ		4
補強材		2
取っ手		1
取っ手カバー		1
受枠用皿木ねじ φ3.8×25		8
ふた枠用皿木ねじ φ3.1×16		8
補強材用ナベタッピンねじ φ4×12	600タイプ	24
	450タイプ	16
補強材端部用皿木ねじ φ3.1×16		4
取っ手用ナベ小ねじ M3×20		2

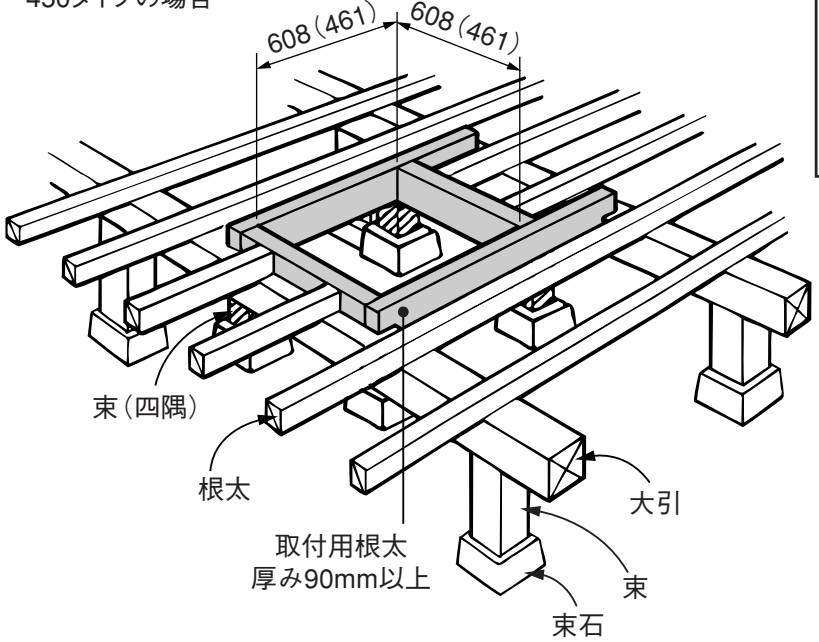
施工のしかた

〔寸法単位:mm〕

1 床組み

取付用根太を指定寸法位置に入れる。

※(　)内寸法は
450タイプの場合

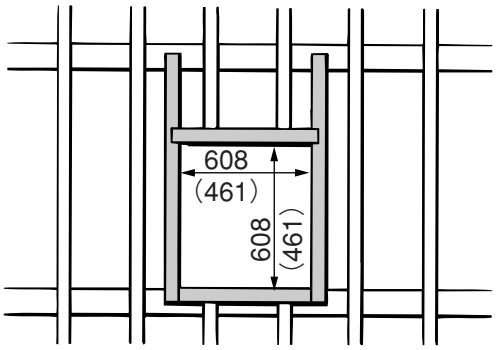


⚠注意

必ず守る

- **取付用根太は、厚み90mm以上を使用する**
- **束を入れて強度を十分確保する**

守らないと、床のたわみや本体落下によるけがの原因となります。



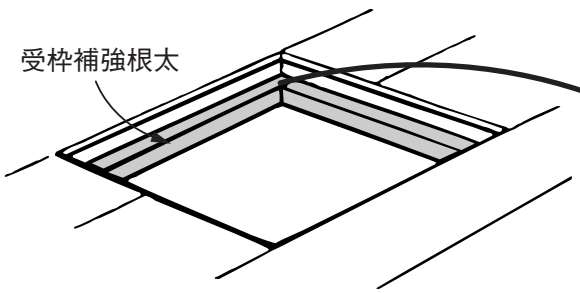
2 床施工 ※床張りを行ってください。

取付用根太に合わせ、床開口をつくる。

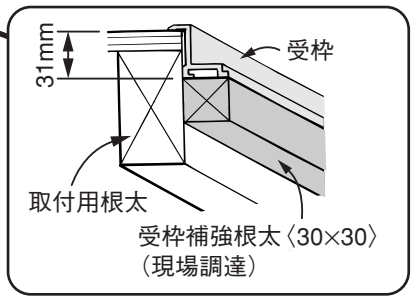
注意 **床鳴り、きしみなどを防ぐため、床と取付用根太は、接着剤・釘などでしっかり固定してください。**

3 開口部の仕上げ

受枠補強根太を取り付ける。



※受枠補強根太を取り付ける際は、受枠を仮置きした状態で固定すると、すき間なく施工できます。

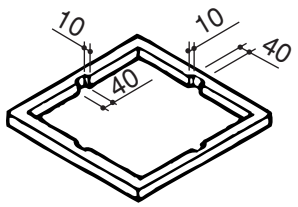


注意

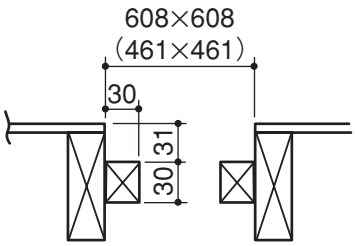
床鳴り、きしみ・たわみなどを防ぐため、取付用根太と、受枠補強根太は、木ねじ(現場手配：L45以上)でしっかり固定してください。(木ねじピッチ:300mm以下)

収納庫本体を取り付ける場合

(600タイプ)



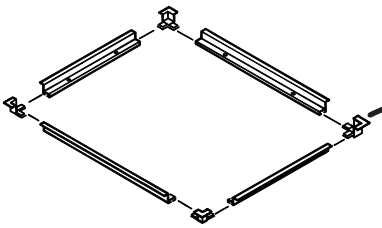
受枠補強根太の中央部を図のように切り欠いてください。



※(　)内寸法は
450タイプの場合

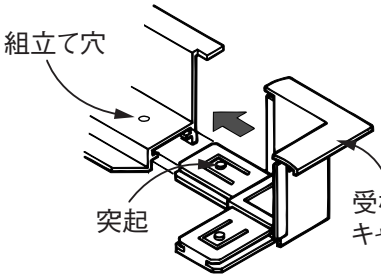
4 受枠の取り付け

1. 受枠を組み立てる。



※4隅（8か所）の突起が確実に入っていることを確認してください。

突起が組立て穴にカチッと入るまで差し込んでください。



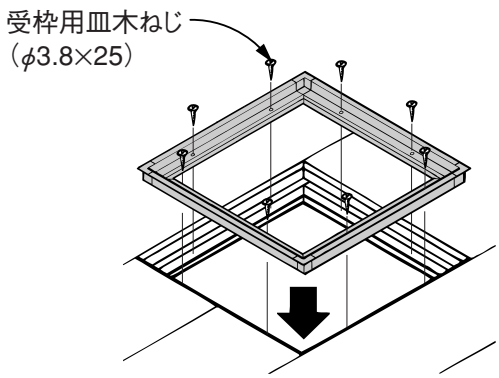
注意

指はさみに注意してください。

※入りにくいときは、突起を押さえながら差し込んでください。

2. 開口部に受枠をセットする。

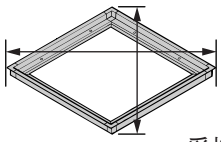
3. 受枠用皿木ねじで固定する。（8か所）



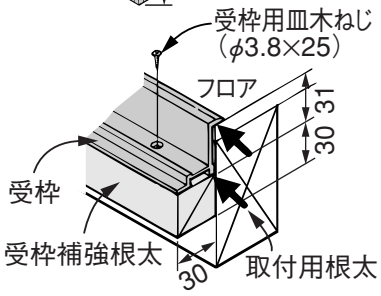
注意 固定する際、必ず受枠に歪みがないように調整してください。
（歪んだまま固定すると、ふた枠が入らなくなるおそれがあります。）

- 対角寸法が同一か。
- コーナー部が直角になっているか。

※ふた板を仮置きするなどして、調整してください。



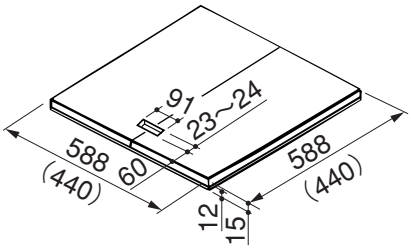
受枠とフロア、受枠補強根太との間（⬅ 部）にすき間が生じないように確実に取り付けてください。
（受枠のたわみ、受枠コーナーキャップの外れの原因となります。）



5 ふたの作成

1.床材を下図の寸法に加工する

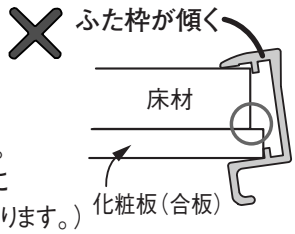
- ●床材板厚は15mmを確保してください。
- ・板厚12mmの場合は裏面に板厚3mmの合板を接着して15mmにする。
- ・板厚15mmの場合はそのまま使用する。



※（　）内寸法は450タイプの場合

注意

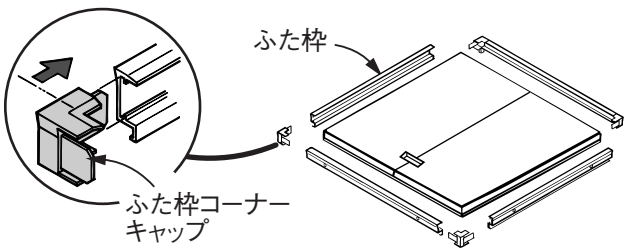
- ●取っ手の穴位置は、補強材と平行になるようにあけてください。
- ●ふた板の反りに十分注意してください。
- ●フロアの場合、板の継目（さね部）が中央にくるように切断してください。
- ●床材の場合、外周面に木口の溝（さね部）が残らないように加工してください。（木ねじがききにくくなります。）
- ●木質直貼床材（裏面クッション材貼り）は使用しないでください。
- ●床材と化粧板（合板）の端面は確実に合わせてください。
（ずれがあると、ふた枠の倒れの原因となります。）



- ●さね部の接着は確実に行ってください。また、床材と化粧板（合板）の接着は確実に行ってください。（たわみ、音鳴りの原因となります。）
- ●接着剤は全面にまんべんなく塗ってください。

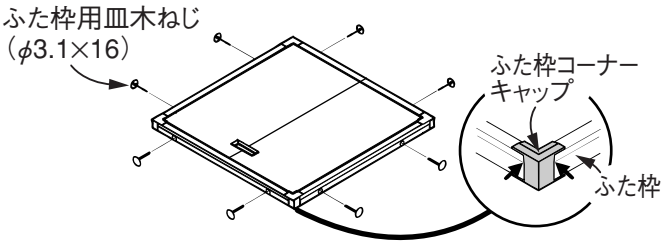
2.ふた枠を取り付ける

① 床材に沿わせながら、ふた枠にふた枠コーナーキャップを差し込み、組み立てる。



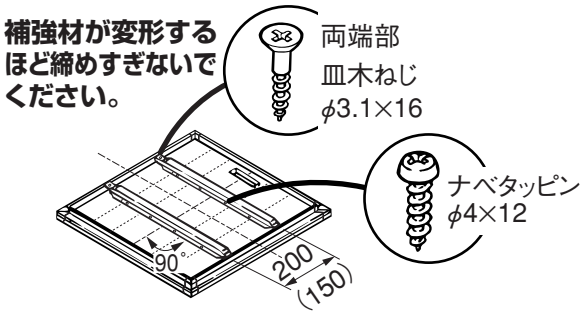
※ふた枠と床材がすれて音鳴りがする場合、床材・合板を軽く面取りして固定し直してください。

② ふた枠用皿木ねじで固定する。（8か所）



注意 ふた枠とふた枠コーナーキャップにすき間（⬅部）が出ないように押さえながらねじ止めしてください。

3.補強材を取り付ける

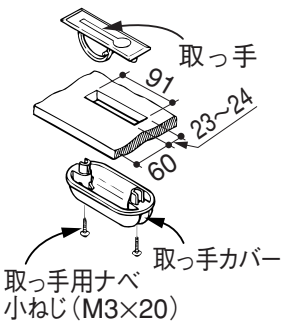


※(　)内寸法は450タイプの場合

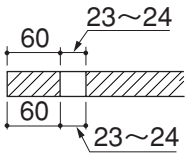
注意

- ●フロアの場合、板の継目と補強材が直角になるように取り付けてください。
- ●ふた枠が反るほど締めすぎないでください。
  （すき間、音鳴りの原因となります。）

4.取っ手の取り付け



ふた板断面図



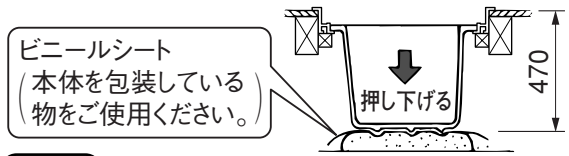
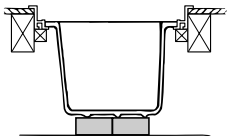
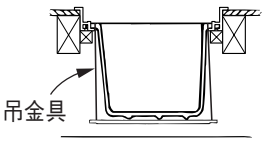
注意

- ●表裏同じ寸法で加工してください。
- ●取っ手が自立しないことを確認してください。
  （取っ手が自立していると、つまづくおそれがあります。）
- ●手回しドライバーで固定してください。
  （電動ドライバーの場合、破損するおそれがあります。）

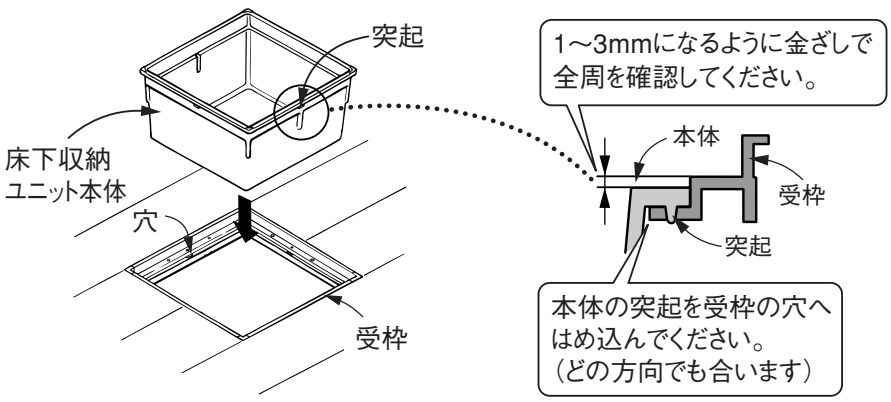
6 〈床下収納ユニットの場合〉本体の取り付け

床下収納ユニット本体（CGLH60F）が別途必要です。

① 本体の下は必ずモルタル、砂袋またはコンクリートブロック（レンガ）で受ける。

モルタル、砂袋で受ける場合	ブロックまたはレンガの場合	吊り金具で受ける場合
 **注意** 本体を押し下げる際、モルタルが固まらないうちに本体の底部を、必ず砂袋を押しつぶすように密着させてください。		●吊金具を使って施工する場合は、専用吊金具をご注文ください。  吊金具品番：CGBT001（1階用）

② かん合部を確認する。



※本収納ユニット本体は1階専用です。

⚠注意

禁止	2階以上へ設置しない 階下への転落、落下のおそれがあります。

施工後の確認

- ●受枠とふた枠はきちんと納まっていますか？
- ●取扱説明書はお客様に渡していただけましたか？

パナソニック電工株式会社　内装システム事業部
〒571－8686 大阪府門真市大字門真 1048番地
© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2010